＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
「総合戦略」スマートシティ推進事業

## 1 事業概要

【目的】
持続性のある地域づくりのため、スマートシティの取組を推し進め、市民が誇れる夢と希望のまち熊谷を目指します。

【内容】
・熊谷まちあるきアプリくまぶらを「市民向けサービスの入口」に位置づけ、各サービスとの連携やコンテンツの充実を図り、市民生活の利便性を高めます。
・気象データを使ったシミュレーションを行い、市民が暑さと共存しながら健康を守る行動変容を勧奨します。（スマホサービスによるシミュレーション結果の配信や休憩場所の表示等）
・各サービスの利用履歴などを市民参加型により分析し、サービスの利用促進や改善、地域課題の解決に向けた施策の立案に活用します。

その他、まちの賑わいと魅力を創出し、市民にも来訪者にも、やさしく快適なまちづくりに寄与する取組を進めます。

【効果】
まち・住まいの暑さ対策スマートパッケージの展開とデジタルコミュニティツールの導入で、市民参加とデータ活用によるまちづくりを目指します。

## 2 特徴やPRポイント

【特徴】
地域の課題解決のため、公（行政）・民（企業・団体等）・学（学術機関）が一体となって、データを活用したまちづくりを進めています。

熊谷市公式 LINE

## 3 その他

令和４年度、熊谷スマートシティ推進協議会ではデータ活用部会を設立し、学識者や民間事業者との意見交換を行っています。また「くまぶら」を活用したスタンプラリーイベント等により、「くまぶら」の利用促進に取り組んでいます。

---

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当課　総合政策部企画課　　担当　市原・大澤
連絡先　TEL 048-524-1111　　内線　228・528

＜速報＞
令和5年度当初予算(案)概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**電子地域通貨発行事業**

## 1 事業概要

【目的】
市外に流出している消費を囲い込むため、市内の加盟店のみで利用できる電子地域通貨を発行し、地域経済の活性化、市内のキャッシュレス化の推進を図ります。

【内容】
まち元気商品券として紙で発行していた地域通貨をデジタルの地域通貨として発行するため、システムを構築します。
また、初年度は１０月を目途に２５％のプレミアム付電子地域通貨を販売し、利用者の増加、加盟店の拡大を図り、市内に電子地域通貨を早期に根付かせます。

【効果】
・市内経済の活性化
・市内のキャッシュレス化
・コミュニティ機能としての活用

## 2 特徴やPRポイント

【特徴】
電子商品券という性質を活用し、市の様々な事業に活用できるシステムを構築し、スピード感をもった運用が可能となります。

【ＰＲポイント】
電子地域通貨システムの導入に際し、加盟店になる店舗がキャッシュレス機器を導入する場合に、１店舗１０万円を上限に補助金を交付します。
（大手事業者等対象外となる事業者があります）

## 3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当課　産業振興部商工業振興課　　担当　柳川
連絡先　048-524-1111　　内線　499

＜速報＞
令和5年度当初予算(案)概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**ウェルビーイング推進事業**

## 1 事業概要

【目的】
本市のスマートシティ推進によるまちづくりについて、市民の心ゆたかな暮らしの実現を図るものとなるよう、客観的な指標の設定を行います。

【内容】
令和５年度は、市民等とのワークショップを通じて、市民の視点から市民が望む「暮らしやすさ」と「幸福感（Well-being）」を数値化し、本市の特性に沿ったウェルビーイング指標を設定し測定します。

【影響】
現在の取組について客観的な視点で検証することで見直しを図ることができます。また、新たなアプローチで市民及び団体との連携を図ることができます。

【効果】
測定結果等の客観的データに基づいた政策立案や検証を行うことができ、より効果的な施策の実施を図ることができます。

## 2 特徴やPRポイント

【特徴】
データにより地域の特性と現状を把握することで、まちづくりの構想を論理的に考えることができます。

【ＰＲポイント】
自治体ランキングではない客観的できめ細やかな指標により、地域の個性をとらえて磨くことができます。

## 3 その他

国が掲げているデジタル田園都市国家構想の実現に向けて、各地域がこれらの指標を活用することが期待されています。
実施市：会津若松市、浜松市、高松市

---

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当課　総合政策部企画課　　担当　服部
連絡先　048-524-1111　　内線　214

＜速報＞
令和5年度当初予算(案)概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**DX推進計画策定事業**

1 事業概要

【経緯】
今般の新型コロナウイルス感染症への対応においては、様々な面で行政におけるデジタル化の遅れが顕在化したことを契機として、国によるデジタル社会の実現に向けた方針や計画等が示され、住民に身近な行政を担う市区町村においてもDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進する意義は大きなものとなっています。
令和５年度末をもって現在の「熊谷市情報化推進計画」が計画期間を満了することから、新たに令和６年度からの５か年を計画期間とした「(仮称)熊谷市DX推進計画」を策定します。

【目的】
様々なデジタル技術の進展や市民の生活様式の変化、ますます多様化する行政ニーズに対応するため、新たな熊谷市のデジタル化の道筋となる推進計画を策定し、市民や当市の行政サービス利用者の利便性向上を図ります。

【事業概要】
・現計画の総括実施及び現状や不足点等の評価、分析
・国の重点計画や自治体DX推進計画が示す取組に対する本市の現状や課題等の整理
・アンケート等による市民（利用者）ニーズの把握、分析
・目的(意義)の明確化及び効果や実行性評価を踏まえた具体的取組の精査と体系的整理

2 特徴やPRポイント

・上位計画である第2次熊谷市総合振興計画(後期計画)の基本構想を実現するため、DXの側面から補完する計画とします。
・外部事業者の専門的知見や分野を問わず広く保有する事例情報等を有効に活用するほか、市職員によるワーキングチームを立ち上げ、庁内の幅広い意見の収集や個別施策の調査、研究を行います。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　総合政策部デジタル推進課　　担当　森
連絡先　TEL 048-524-1111　　内線　490

＜速報＞
令和5年度当初予算(案)概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等

**戦略的人流データ活用事業**

## 1 事業概要

【目的】
花火大会やうちわ祭、ラグビーをはじめとするスポーツイベント等に参加している観光客の年齢、出身地等を把握し、ニーズに合った事業を実施します。また、中心市街地における「歩行者・自転車通行量調査」、商圏の分析等を行い、中心市街地活性化施策や効果的な商工振興施策のプロモーションに活用します。さらに、まちなかにおける歩行者・自動車の交通量などを把握し、滞在の快適性向上の効果的な施設の誘致や配置などを行い、まちなかウォーカブルの推進につなげることを予定しています。

【内容】
携帯電話会社が保有している携帯電話利用者のGPS位置情報や属性（性別、年代、出身地等）の情報を基に、人口統計等を参照して拡大推計した人口データを、特定の区域を指定した上でデータを取得します。

【効果】
実態を把握することにより、今まで概数でしか把握できていなかった入込客数を把握することができます。また、入込客の出身地、年齢、性別等を把握し、事業マネジメントに活用し、効率の良いプロモーション戦略が可能となります。

## 2 特徴やPRポイント

【特徴】
日時、期間、場所等を指定することができるため、より詳細で必要としている情報の取得が可能となります。
【ＰＲポイント】
他市で行われたイベント、施設等を対象とすることで、今後計画・実施していく事業においてマネジメントに活用できます。

## 3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当課　総合政策部スポーツ観光課　　担当　小島
連絡先　048-524-1760　　内線　391

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**橋りょう点検DX化事業**

## 1 事業概要

【目的】
道路法で義務付けられた５年に一度の橋りょう点検について、デジタル技術等を活用し、点検作業の効率化、コストの削減を図ります。

【内容】
現在、橋りょう点検車や梯子等を使用して行っている橋りょう点検作業について、点群データによる３Ｄモデルを作成し、３Ｄモデル上で損傷状況等の確認を行うことにより、点検業務の効率化やコスト削減を図ります。
令和５年度は、デジタル技術を活用した点検作業による実証実験を行い、令和６年度以降の本格導入に向けた課題の抽出等の効果検証を行います。

【効果】
点検作業をより効率化することにより、橋梁点検にかかるコストを削減することが可能となります。
また、点検時の交通規制や危険作業の軽減により、点検作業の安全性の向上や、交通規制時の市民生活への影響を減少することができます。

## 2 特徴やPRポイント

熊谷市の管理橋梁数は１，０００橋を超えており、点検作業の効率化やコスト縮減を図ることが大きな課題です。他の自治体に先駆け、橋りょう点検のＤＸ化を進めることにより、コストの削減等に取り組みます。
また、３Ｄモデルの作成には大がかりな機材等は使用せず、令和４年度に新たに国土交通省の点検性能技術カタログに掲載された、市販のカメラ等により撮影された画像により３Ｄモデルを作成する新技術の活用を想定しています。

## 3 その他

※ 資料の有無（　有　・　[無]　）

担当課　建設部維持課課　　担当　金子
連絡先　℡　048-524-1111　　内線　543

＜速報＞
令和5年度当初予算(案)概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**都市空間情報デジタル基盤構築事業**

## 1 事業概要

【目的】
官民連携による３Ｄ都市モデルの整備、データの活用、オープンデータ化を推進します。

【内容】
都市計画、防災、環境分野等において利活用が期待されている「３Ｄ都市モデル」について、より精度の高いシミュレーションが可能となる情報量に更新します。また、「３Ｄ都市モデル」を活用した各種シミュレーションに取組むほか、データの蓄積・オープンデータ化を進め、官民で利用可能なＷｅｂＧＩＳを整備します。
あわせて、地理空間データの利活用（ユースケース）の可能性を調査するとともに、市民の利用を見据えた新たな機能の開発(プラグイン)について検討します。

【影響・効果】
デジタル技術を活用したシミュレーションにより、まちづくりや景観、まちなかの熱環境、災害リスクなどの課題を可視化し、効率的な行政業務が可能となります。
また、オープンデータ化によって、市民への情報提供や民間ニーズの掘り起こし、活用促進を図ることで、市民のまちづくりへの参画が期待できます。

## 2 特徴やPRポイント

【特徴】
熊谷市では、国のモデル事業として令和３年度に「３Ｄ都市モデル」が整備され、スマートタウン整備に向けたシミュレーション等に活用しています。「３Ｄ都市モデル」の高度化を図り、データの整備・活用・オープンデータ化を推進することで、データに基づいた市民目線の政策立案を推進します。

【ＰＲポイント】
ＷｅｂＧＩＳの操作体験講習会や市民向けワークショップを開催することで、市民への情報提供及び利活用を促進します。

## 3 その他

「都市空間情報デジタル基盤構築支援事業(国土交通省所管)」の埼玉県内活用実績
・令和４年度　　２市［さいたま市、戸田市］
・令和５年度（予定）　２市［熊谷市、さいたま市］　※県内３番目

---

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当課　都市整備部都市計画課　　担当　小谷、小森
連絡先　0493-39-4813(直通)　　内線

＜速報＞
令和5年度当初予算(案)概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**公共交通オープンデータ化推進事業(総合交通体系整備促進事業)**

## 1 事業概要

【目的】
市内循環バス「ゆうゆうバス」のバス停や乗降者数等をオープンデータ化し、利用者等の利便性の向上及び、利用機会の増加を図ります。

【内容】
国際的に広く利用され、バス事業者と経路検索等の情報利用者との情報の受け渡しのための共通フォーマットであるGTFS(General Transit Feed Specification)データの整備・公表をします。

【効果】
共通フォーマットによりデータを公表することで、経路検索サービスにバス停の位置やダイヤ等の状況が反映されて公共交通の利用促進につながることや、官民連携によるまちづくりの検討や民間事業者等による新ビジネスの創出が期待されます。

## 2 特徴やPRポイント

【ＰＲポイント】
コミュニティバス（ゆうゆうバス）については、一部検索サイトに対応していないため、GTFSを整備し、オープンデータ化することで、多くの検索サイトで自宅からバス停、バス停から目的地までの経路結果を一元的に示すことができます。そのことにより、市民や来訪者へも分かりやすく目的地までの経路を案内することができるようになります。

## 3 その他

※ 資料の有無（　有　・　[無]　）

担当課　総合政策部企画課　　担当　白根、蟻川
連絡先　048－524－1115　　内線　529

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**パブリックビューイング事業**

## 1 事業概要

【目的】
パブリックビューイング（以下、「ＰＶ」）の実施により、より多くのラグビー観戦の機会を設け、ラグビーを身近に感じることのできる環境を市民に提供することで、ラグビータウンの推進を図ります。

【内容】
ジャパンラグビーリーグワン及びラグビーワールドカップ2023フランス大会の試合について、熊谷駅前商業施設や熊谷ラグビー場を会場としてＰＶを実施します。

| 対象試合 | 日程 | 実施場所 | 規模 |
|---|---|---|---|
| リーグワン<br>※ワイルドナイツビジターゲーム8試合 | 4月、12～3月<br>詳細未定 | ニットーモール<br>（予定） | ～100人 |
| RWC2023<br>※日本代表プール戦2試合 | 9/10（日） vsチリ<br>10/8（日） vsアルゼンチン | 熊谷ラグビー場 | 数千人 |

【効果】
ＰＶでの気軽な試合観戦を通じ、スタジアム観戦への動機付けを図るとともに、ラグビーファンの増加に繋げます。

## 2 特徴やPRポイント

地元の埼玉ワイルドナイツの試合について、ホストゲームは【スタジアム（熊谷ラグビー場）】で、ビジターゲームは【パブリックビューイング】でお楽しみください。
また、ラグビーワールドカップ2023フランス大会についても、ＰＶで多くのファンとともに日本代表を応援できるよう準備を進めていきます。

◆ラグビーを観るなら熊谷で！

## 3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当課　総合政策部ラグビータウン推進課　　担当　渡邊
連絡先　048-524-1135（直通）　　内線　341

＜速報＞
令和5年度当初予算(案)概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**ワイルドナイツ連携事業**

## 1 事業概要

【目的】
埼玉パナソニックワイルドナイツや埼玉県ラグビー協会と連携し、イベント等の実施を促進することで、ラグビーを通じた活気のある魅力的なまちづくりを推進します。

【内容】
ジャパンラグビー リーグワンにおける熊谷での埼玉ワイルドナイツの活動に当たり、次の取組を実施します。

○ホストゲーム運営支援
熊谷で開催される埼玉ワイルドナイツのホストゲームに際し、チームが行う試合運営等の支援を行うほか、ファン層拡大等の支援を行います。

○リーグワン応援バスツアー
令和４年度に実施し好評をいただいたリーグワンプレーオフトーナメントにおけるバスツアーを実施します。

○ファン交流イベント
シーズン終了後に市民を対象とした埼玉ワイルドナイツのファン交流イベントを行い、市民とチームがさらに一体となるよう、来シーズンに向けて盛り上げていきます。

○太田市・熊谷市・大泉町合同花火大会
ラグビーによる地域振興協定を結んでいる熊谷市・太田市・大泉町で花火大会を実施します。

## 2 特徴やPRポイント

埼玉パナソニックワイルドナイツは、「ラグビータウン熊谷」の最大の魅力であり、大きな柱です。チームと一体となってラグビーの普及・振興に取り組むことで、地域の活性化につなげていきます。

## 3 その他

【主なスケジュール】
令和５年４～５月　ジャパンラグビー リーグワン2022-23　ホストゲーム（2試合）
令和５年　１２月　ジャパンラグビー リーグワン2023-24　開幕

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当課　総合政策部ラグビータウン推進課　　担当　渡邊
連絡先　048-524-1135(直通)　　内線　341

＜速報＞
令和5年度当初予算(案)概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**全国さくらシンポジウム事業**

## 1 事業概要

【目的】
公益財団法人日本花の会が主催する「全国さくらシンポジウム」を令和５年４月に熊谷市で開催し、日本さくら名所１００選の熊谷桜堤をはじめとした「さくらのまち熊谷」の美しい風景を全国に発信し、交流人口の拡大と観光の振興を図り、本市の桜とその歴史を次世代に繋げます。

【内容】
桜の観賞を永年にわたり楽しめるよう、桜の名所の修景や利用のあり方、保全技術等をテーマに開催し、活動事例報告や記念講演、現地見学会などを２日間にわたり実施します。また、桜の専門家や、保全活動団体の方々との交流を通して、桜の名所を未来に残す保全活動のきっかけとするなど、レガシーとして記憶に残る取組も行います。
本事業については、2023全国さくらシンポジウムin熊谷実行委員会との共催とし、同実行委員会に負担金を交付します。

【効果】
シンポジウム開催を通して、本市の桜の名所等の情報を市内外に広く発信することで、市内各所に存在する桜の名所の知名度向上及び観光ＰＲに繋げます。また、桜の保全活動等に関する取組を広く周知し、熊谷の美しい桜を永年にわたり楽しめるように、桜に関する知見を深めます。

## 2 特徴やPRポイント

１日目のシンポジウムでは、桜の保全活動に取り組んでいる団体による活動事例報告のほか、記念講演として、お笑い芸人のゴルゴ松本氏による「ゴルゴ松本 命の授業」や、熊谷陣屋太鼓保存会によるアトラクションが行われます。また、２日目には、市内の桜名所等を巡る現地見学会（３コース）を計画しています。

【開催概要】
・大会名称
2023全国さくらシンポジウムin熊谷
・テ ー マ
さくらでつなぐ　こころ　みらい
・日時、場所

| | | | |
|---|---|---|---|
| ４月６日（木） | シンポジウム | 12:30～17:00 | 熊谷市立文化センター文化会館 |
| | 交流会 | 18:30～ | ホテルマロウドイン熊谷 |
| ４月７日（金） | 現地見学会 | 午前中 | 熊谷桜堤ほか市内の桜名所 |

・現地見学会コース（予定）
① 万平公園、熊谷桜堤、中央公園 、熊谷スポーツ文化公園、妻沼聖天山
② 万平公園、熊谷桜堤、根岸家長屋門、小江川1000本桜、熊谷さくら運動公園
③ 星川シンボルロード、星渓園、石上寺、熊谷桜堤、万平公園

## 3 その他

主催：2023全国さくらシンポジウムin熊谷実行委員会、公益財団法人日本花の会
共催：熊谷市　後援：埼玉県

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当課　総合政策部スポーツ観光課　　担当　小林
連絡先　048-524-1473　　内線　349

＜速報＞
令和5年度当初予算(案)概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**熊谷グルメイベント実施事業**

## 1 事業概要

【目的】
平成２９年から３年間、本市を会場として開催された「全国ご当地うどんサミット」では、本市のご当地うどんである「熊谷うどん」のＰＲが行われました。うどんサミットのレガシーとして、本市における「うどん文化」を引き続き市内外に発信し、市内グルメのＰＲと観光振興を図ります。

【内容】
令和４年度に引き続き、広く親しまれている『肉汁うどん』に特化したプロモーションとして、長期間におけるＰＲ効果やイベント後の店舗周遊増が期待できる冊子作成とスタンプラリーを実施します。本事業については、一般社団法人熊谷市観光協会との共催とし、同協会に補助金を交付します。

【効果】
昨年開催したスタンプラリーには約２，０００人が参加し、肉汁うどんファンの新規獲得など地域資源である肉汁うどんの掘り起こし、再認識ができたと考えられます。令和５年度は、更なるうどん文化のＰＲのため、参加うどん店舗数の拡大を目指し、ご当地グルメによる地域振興を図ります。

## 2 特徴やPRポイント

麦栽培の技術を確立した「麦王」こと「権田愛三」の出身地でもある熊谷市では、全国トップクラスの生産量を誇る麦を生かした「うどん文化」が古くから根付いています。冊子には、架空の物語として、権田愛三の末裔がオリジナルキャラクターのキング・ウィートとして活躍する、熊谷の肉汁うどんを背景としたオリジナルストーリーが描かれます。

## 3 その他

共催：一般社団法人熊谷市観光協会

---

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当課　総合政策部スポーツ観光課　　担当　黛
連絡先　048-524-1473　　内線　312

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**がん患者医療用ウイッグ購入費助成事業**

## 1 事業概要

【目的】
　がん治療によって変化する外見への心理的負担を軽減するためのウイッグの購入に対して、その費用の一部を助成します。

【内容】
　がん治療に起因する脱毛によってウイッグを必要とし購入した熊谷市に住民登録がある方を対象に、１人につき１回限り、上限１万円の助成を予定しています。

【効果】
　ウイッグの購入に係る費用の一部を助成することにより、がん患者の経済的負担の軽減、療養生活の質の向上、就労継続等の社会生活を支援します。

## 2 特徴やPRポイント

　本市では、がんが死因別死亡割合の第１位であり、最も身近な病気となっていることから、市民の生命及び健康にとって重大な課題となっています。
　がん患者は、がん治療の副作用による外見変化により、自分らしさを喪失したり、他者との対等な関係性が変化する不安をもっています。
　ウイッグの購入に係る費用の一部を助成することにより、がん患者が社会とのつながりを維持し、生きる意欲を持ち続け、自分らしく生活できるよう支援します。

## 3 その他

※ 資料の有無（　有　・　[無]　）

担当課　市民部健康づくり課　　担当　福島　稔
連絡先　℡048-528-0601　　内線　ー

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**かわまちづくり計画策定事業**

## 1 事業概要

【目的】
（仮称）新市民体育館及び荒川公園の再整備に併せて、国と連携した荒川の河川空間整備の実現を目指します。

【内容】
河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指し、荒川河川敷の整備や利活用に関するかわまちづくり計画の策定に向けた検討を行います。

【効果】
荒川のより安全で有益な利活用として、市民や市外からの来訪者にとって安心かつ魅力的な空間形成を図り、地域の活性化や地域ブランドの向上を実現していきます。

## 2 特徴やPRポイント

（仮称）新市民体育館は自然豊かな荒川と多くの人が集まる熊谷駅の近くに位置しており、建設を契機に熊谷駅南口エリアと河川空間を融合させることで体育館と河川敷の利活用を促進し、賑わい創出を図ります。

## 3 その他

「かわまちづくり」とは、『河川空間とまち空間が融合した、良好な空間形成を目指す取組み』とされています。
「かわまちづくり計画」は河川管理者と共同で作成し、計画に基づいた支援施策を河川管理者から受けることができます。国交省が所管しています。

---

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当課　建設部河川課　　担当　北岡
連絡先　048－524－1111　　内線　354

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**9価HPVワクチン定期接種開始（予防接種事業）**

## 1 事業概要

【目的】
予防接種法に基づく疾病のうち、政令で定められた対象疾病に対して伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するために、予防接種を行い、公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目的とします。

【内容】
子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス（ＨＰＶ）の感染を防ぐため、ＨＰＶワクチン定期接種の接種機会を逃した方に対してキャッチアップ接種を継続するとともに、令和５年４月から、新たに９価ＨＰＶワクチン予防接種を定期接種として実施します。

【経緯・経過】
ＨＰＶワクチン定期接種の積極的勧奨の再開を受け、熊谷市では、ＨＰＶワクチン定期接種を令和３年１２月から実施しています。令和４年６月には、キャッチアップ接種を開始し、８月からは、令和４年３月３１日までに定期接種の年齢を過ぎて自費で接種した方への償還払いを実施しています。ＨＰＶワクチン定期接種は、２価又は４価ＨＰＶワクチンに加えて、令和５年４月から９価ＨＰＶワクチンの定期接種を実施します。

【効果】
９価ＨＰＶワクチンは、９種類のＨＰＶの感染を防ぐワクチンです。その中でも、子宮頸がんの原因の８０～９０％を占める、７種類のＨＰＶの感染を予防することができます。

## 2 特徴やPRポイント

９価ＨＰＶワクチン接種の定期接種化に伴い、対象者となる小学６年生から高校１年生相当の女子及び積極的勧奨を差し控えている間に定期接種の機会を逃した世代である平成９年４月２日から平成１９年４月１日生まれの女性へ予診票・リーフレット等個別通知します。

## 3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当課　市民部健康づくり課母子健康センター　担当　五十嵐、池田
連絡先　℡　048-525-2722　内線

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**乳児個別健康診査（母子保健事業）**

## 1 事業概要

【目的】
乳児健康診査を個別に医療機関で実施し、早期にかかりつけ医を持つことで、保護者が安心して子育てができるように支援します。

【内容】
現在、4～5か月児を対象とした乳児健康診査は、母子健康センターにおいて集団健診を月2回実施していますが、令和5年10月からは、保護者の希望する日に、近くの医療機関で受診できるよう一般社団法人熊谷市医師会に委託し、市内実施医療機関で個別に健診を実施します。

【効果】
乳児健康診査の個別化により、保護者が希望する日時、医療機関で受診し、併せて予防接種を受けることができるなど、保護者の負担を減らすことができます。
また、健診や予防接種を受けることで、かかりつけ医を持つきっかけとなり、安心して子育てできる環境づくりを進めます。

## 2 特徴やPRポイント

【特徴】
集団健診では、感染症の感染拡大により健診日を延期をしたこともありましたが、市内実施医療機関で個別健診を実施することで、適切な時期に受診し、病気の早期発見や発育発達の確認ができます。

## 3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当課　市民部健康づくり課母子健康センター　担当　宇田
連絡先　048-525-2722　内線

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**任意接種費用助成事業**

## 1 事業概要

【目的】
任意予防接種の一部を助成し、経済的負担の軽減を図り、市民の健康を支援します。

【内容・経緯】
対象となる任意予防接種は、平成２６年度から実施している大人の風しん予防接種、令和４年度から実施している造血幹細胞移植後ワクチン再接種の他に、令和５年４月から定期接種となる９価ＨＰＶワクチン接種について、令和４年度中に任意接種した方へ費用の一部助成を実施します。

【効果】
市民の健康保持増進に寄与するとともに経済的負担の軽減し、疾病及び感染症のまん延防止を図るものです。

## 2 特徴やPRポイント

【特徴】
ＨＰＶワクチン定期接種の積極的勧奨の差し控えにより定期接種の機会を逃した方であって、定期接種の対象年齢を過ぎてＨＰＶワクチンを令和４年３月３１日までに自費で接種した方への償還払いを実施していますが、本市独自の施策として、令和４年４月１日から令和５年３月３１日までの期間に９価ＨＰＶワクチンを接種された方に対しても、遡って費用の助成を行います。

## 3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当課　市民部健康づくり課母子健康センター　担当　五十嵐、池田
連絡先　℡　048-525-2722　内線

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**消防活動経費（器具購入費：災害用ドローンの導入）**

## 1 事業概要

【目的】
災害時の迅速な被害確認及び情報収集

【内容】
大規模火災での延焼状況の確認、水難救助による人命の検索、自然災害等の被害状況の確認ができます。
また、有用な情報収集ツールとして活用し、二次災害防止や住民の避難状況を確認できます。

【効果】
災害発生初期に俯瞰的視点情報の収集が可能になり、被害状況及び災害推移の把握、さらに災害発生時の効果的な部隊運用につながります。

## 2 特徴やPRポイント

【特徴】
赤外線カメラ、レーザー距離計を搭載
【ＰＲポイント】
映像伝送システムを活用し、各種端末で情報共有を図ることができます。

## 3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当課　消防本部　警防課　　担当　警防係　棚澤
連絡先　048-501-0117　　内線

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**中央分団・団本部小隊車庫建築事業**

## 1 事業概要

【目的】
消防団を中核とした地域防災力の強化に伴い、装備の充実及び活動拠点施設等の改善が急務となっていることから、市民の安全向上に直結した防災拠点である消防団施設の整備推進を図るものです。

【内容】
昭和５６年の新耐震基準施行以前に建築された、老朽化が著しい中央分団車庫と同一敷地内に建築されている団本部小隊車庫を統合し整備を図ります。
⑴所 在 地：熊谷市宮町1丁目121番地
⑵概　　要：鉄骨造2階建て（1階：車庫、2階：待機室）
建築面積79.82㎡　延べ面積144.00㎡

令和３年度に設計、令和４年度に既存施設の解体工事を行っています。

【影響】
市民の安心、安全並びに公共の安全の確保に密接に関わる消防団活動に必要不可欠な施設を建て替えることで、より良い市民サービスの向上に繋がります。

## 2 特徴やPRポイント

【特徴】
同一敷地内の分団車庫を統合し、施設を共用することで活動環境の効率化が図れるほか、施設維持管理経費を削減することができます。

## 3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当課　消防本部警防課　　担当　消防団係　田中
連絡先　048-501-0117　　内線

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**高齢者向けスマートフォン貸与事業**

## 1 事業概要

【目的】
　スマートフォンを所有していない高齢者にスマートフォンを一定期間貸与し、講習会等で基本的な操作を習得できるよう支援し、スマートフォンの利便性を伝えるとともに普及を進め、高齢者のデジタルデバイドの解消を目指すことを目的とします。

【内容】
・スマートフォンを所有していない６５歳以上の高齢者に対し、スマートフォンの利用環境を提供の上、端末の操作方法や、電話、メール、写真・動画の撮影・編集、ＳＮＳ、アプリ等の活用について習得できるように講習会を実施します。
　また、参加者から、スマートフォンの操作方法の相談を受け、活用できるようコールセンター等を設置し支援します。

・実施期間は令和５年度及び６年度とし、貸与期間は半年間から１年間以内を予定しています。

・貸与台数は、最大２００台を無償貸与する予定です。

・業者選定は、令和５年４月以降プロポーザル方式により決定する予定です。

## 2 特徴やPRポイント

【特徴】
現在、同様の貸与事業は県内では実施していません。

【ＰＲポイント】
・高齢者にスマートフォンを無償で貸与します。
・講習会及びコールセンター等により、一人ひとりが使いこなせるよう丁寧に支援します。

## 3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当課　福祉部長寿いきがい課　　担当　中村
連絡先　℡　048－524－1111　　内線　280

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**熊谷駅保育ステーション整備事業**

## 1 事業概要

【目的】
利便性の高い熊谷駅に保育ステーションを整備し、子育て世代を応援します。

【内容】
保育ステーションとは、一時的に子どもを預かる機能と、利用保育園への送迎機能を併せ持った施設です。利便性の高い駅周辺で送迎が行えること、保育ステーションでの保育により朝、夕の預かり時間が延長されることから、子育て世代の保育所利用の可能性が広がります。本市では、すでに籠原駅に隣接することぶきイーサイト保育園で実績がありますが、これを新幹線停車駅でもある熊谷駅にも拡大し、さらなる子育て施策の充実を図ります。

【効果】
〇送迎できる保育園が近くにないなど、保育園利用をあきらめざるを得なかった保護者にとっては、利便性の高い熊谷駅周辺での送迎が可能となることにより、保育園の選択肢が広がります。
〇遠距離通勤で朝が早い、帰りが遅いなど、保育園の利用時間に間に合わず、保育園をあきらめざるを得なかった保護者にとっては、保育ステーションでの預かり時間延長により、保育所利用の可能性が広がります。
〇駅から遠い園についても、利用しやすくなるため、待機児童対策にもなります。
〇子どものいる共働き世代へのアピールとなることから、人口流入も期待されます。

## 2 特徴やPRポイント

【特徴】
熊谷駅で保育園の送迎が行えることにより、新幹線利用者、電車通勤者、駅周辺への通勤者など、多くの保護者の利便性向上、負担軽減につながります。
【ＰＲポイント】
市長の７つの基本政策の１つ「親も子も笑顔が輝く熊谷を創ります」を実現する事業です。

## 3 その他

令和５年度中に事業者を選定し、事業開始を予定しています。
利用料金は、現状の料金を含め、より利用しやすくなるよう、事業者選定の中で検討していきます。

---

※ 資料の有無（　有　・☐無　）

担当課　福祉部保育課　　担当　西村
連絡先　048－524－1111　　内線　537

＜速報＞
令和5年度当初予算(案)概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
「総合戦略」地域子育て支援拠点事業
～利用者支援事業所における相談機能の拡充～

## 1 事業概要

【目的】
利用者支援事業所（「くまっぺ相談室」）において、通常の児童相談業務に加え、障害児や多胎児のいる家庭など多種多様な子育てに関する相談及び支援を充実させることができるよう補助金の増額を行います。

【内容】
多胎児支援「双子ちゃんの日」やダウン症の子を持つ親の会のサークル、小さく生まれた子と親の会のサークル、アウェイ育児をする親の会等への支援の充実を図るため開催日数を増やしたり、専門的な知識・経験を有する職員を配置します。

【効果】
子育てに関する様々な相談の充実を図ることにより、子育ての不安感を緩和、地域の子育て支援機能の充実を図ることができます。

## 2 特徴やPRポイント

【特徴】
地域子育て支援拠点に併設されている利用者支援事業相談室において、気軽に専門的な知識、経験を有する職員に多種多様な相談をすることができるようになります。

## 3 その他

代表者：NPO法人子育てネットくまがや（大﨑幸恵）

---

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当課　福祉部こども課　　担当　尾上
連絡先　048-524-1111　　内線　255

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**「総合戦略」子育て支援・保健拠点施設整備事業**

## 1 事業概要

【目的】
老朽化が進行する保育所や保健施設等の再編及び機能移転と、子どもの遊びの場・学びの場や子育てに関する相談機能を有する（仮称）こどもセンターの整備を複合的に行い、子育て・保健に係る機能の充実や連携強化を図ります。

【内容】
以下の５つの機能を複合施設として整備します
・（仮称）こどもセンター（約2,750㎡）・（仮称）新石原児童クラブ（約500㎡）
・（仮称）保健センター（約2,300㎡）・（仮称）中央保育所（約1,800㎡）
・休日・夜間急患診療所（約320㎡）

【効果】
・行政と民間事業者が連携し、子育て支援と健康づくりに関するきめ細かいサービスを提供します。
・遊び、学びと相談の場が併設された、子育て世代の憩いの場を整備し、子どもの健康や発育、発達に関する不安、保護者の心身の不調や育児不安など、複合的な問題の早期発見や深刻化の防止に繋げていきます。

## 2 特徴やPRポイント

・本市初のDBO方式による事業であり、事業費の削減効果が期待できます。また、運営事業者が、設計・建設段階から関わり、無駄のない施設配置、動線計画が可能になります。
・（仮称）こどもセンターの運営においては、民間事業者のノウハウが発揮され、多様な遊びの場、学びの場を提供します。
・屋外には子どもの遊び場のほか、ウォーキングコースや健康遊具コーナー等を設け、健康づくりのために多世代で利用できる施設とします。

## 3 その他

令和５年度の業務概要
・設計及び当該業務に関するモニタリングの実施
・形質変更に伴う土地履歴調査及び土壌調査
・整備予定地西側道路（市道50073号線）の改良工事

---

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　福祉部こども課　　担当　茂木・新島
連絡先　TEL048-524-1111　　内線　426

＜速報＞
令和5年度当初予算(案)概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
「総合戦略」放課後児童保育室整備事業

## １ 事業概要

【目的】
新たに児童クラブを整備することで、保護者が就労等により昼間家庭にいない児童の健全育成と保護者の就労等の支援を図ることを目的としています。

【内容】
待機児童の発生が見込まれる小学校区について、児童クラブを整備します。また、令和６年度に整備を予定する児童クラブの設計を行います。

（仮称）第２南児童クラブ　　（定員４０人）開設予定：R6年4月（R5工事）
（仮称）新第２別府児童クラブ　（定員８０人）開設予定：R6年4月（R5工事）
（仮称）第２妻沼南児童クラブ　（定員４０人）開設予定：R7年4月（R5設計）
（仮称）新大里さくら児童クラブ（定員８０人）開設予定：R7年4月（R5設計）

【効果】
新たな児童クラブを整備することにより、待機児童を減らし、保護者の就労等を支援する環境を整えます。

## ２ 特徴やPRポイント

待機児童の解消に向けて、平成２７年度から計画的に児童クラブの整備を実施し、定員の増加を図っています。
整備状況

| | | |
|---|---|---|
| 平成２７年度 | 第３東、第４石原、第２別府 | 定員　１１０名増 |
| 平成２８年度 | 第２江南南、成田、南、佐谷田 | 定員　１２０名増 |
| 平成２９年度 | 第２大幡、第５石原、第３玉井、久下 | 定員　１２５名増 |
| 平成３０年度 | 籠原、第２箱田、第４東、長井、吉岡 | 定員　１４５名増 |
| 令和　元年度 | 第２新堀、第４大幡 | 定員　　７５名増 |
| 令和　２年度 | 第３別府、三尻 | 定員　１００名増 |
| 令和　３年度 | 第４箱田 | 定員　　３５名増 |
| 令和　４年度 | 第２佐谷田 | 定員　　４０名増 |

## ３ その他

※ 資料の有無（　有　・□無　）

担当課　福祉部保育課　　担当　揖斐
連絡先　048-524-1131（直通）　　内線　301

＜速報＞
令和5年度当初予算(案)概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**省エネエアコン普及促進事業**

## 1 事業概要

【経緯】
令和４年度に実施した、環境省のモデル事業である熊谷市省エネエアコン定額利用制度において、省エネエアコンの購入に対し、住民のニーズがあることが判明しました。

【目的】
省エネエアコンの普及を促すことにより、地球温暖化対策に資するとともに、市民の熱中症予防の一層の推進を図り、生命と健康を守ることを目的としています。
また、省エネエアコンの購入を熊谷市内の店舗に限ること、補助金を「まち元気」熊谷市商品券にて交付することにより、熊谷市の地域経済の活性化に繋げます。

【内容】
熊谷市内の店舗で省エネエアコンを購入した方に「まち元気」熊谷市商品券を補助金として交付します。

【効果】
省エネエアコンが普及することにより、使用電気量の適正化による二酸化炭素排出量の削減と、熱中症予防が期待できます。

## 2 特徴やPRポイント

【ＰＲポイント】
20年前（2003年製造）のエアコン（7～10畳用）を省エネエアコン（統一省エネルギーラベル☆3.0、7～10畳用）へ入れ替えた場合、年間消費電力量301kWh削減、年間電気代9,330円削減（31円/kWhで試算）、年間CO2排出量137kg削減が期待でき、これは1年間にスギの木が吸収するCO2量に換算すると9.8本分になります。

## 3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当課　環境部環境政策課　　担当　清水
連絡先　048-536-1547(直通)　　内線　206

＜速報＞
令和5年度当初予算(案)概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**熊谷市地球温暖化対策実行計画の改定及び脱炭素ロードマップの策定（環境政策業務経費）**

## 1 事業概要

【目的】
本市は、令和4年10月28日（金）に「ゼロカーボンシティくまがや」を宣言しました。
2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラルを達成するために、地球温暖化対策の推進をはじめ、より一層様々な施策の検討を進めることを目的としています。

【内容】
カーボンニュートラルを達成するために、第2次熊谷市環境基本計画後期計画の策定（令和5年度実施）に際し、熊谷市地球温暖化対策実行計画を見直すと同時に、地域の成長戦略ともなる地域脱炭素の行程と具体策を示す熊谷市版脱炭素ロードマップを策定します。

【効果】
熊谷市として取り組むべき事業や課題を明確にし、2050年のカーボンニュートラルに向けてスムーズな事業展開が行えるようになります。

## 2 特徴やPRポイント

【ＰＲポイント】
脱炭素ロードマップを策定することにより、官民一体となって2050年カーボンニュートラルの実現を目指します。

## 3 その他

※ 資料の有無（　有　・　[無]　）

担当課　環境部環境政策課　　担当　清水
連絡先　048-536-1547(直通)　　内線　206

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**電気自動車等充電設備普及事業**

## 1 事業概要

【目的】
　電気自動車（ＥＶ）やプラグインハイブリッド車（ＰＨＶ）充電設備の設置を促進し、ＥＶやＰＨＶの更なる普及を目指します。

【内容】
　次世代自動車振興センターの補助金（以下、ＮＥＶ補助金）を受けて設置した充電設備が補助対象です。
　補助金額は、補助対象経費からＮＥＶ補助金を控除した金額の２分の１とし、上限は３０万円です。

【影響】
　ＮＥＶ補助金に上乗せし補助金を交付することで、設置者の費用負担軽減と、ＥＶやＰＨＶの普及を目指します。

【効果】
　温室効果ガス排出削減につながります。

## 2 特徴やPRポイント

【特徴】
　「商業施設及び宿泊施設等への充電設備設置事業（目的地充電）」に加え、「マンション、月極駐車場及び事務所・工場等への充電設備設置事業（基礎充電）」を補助対象としています。

## 3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当課　環境部環境政策課　　担当　大澤
連絡先　048-536-1547　　内線　206

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**汚泥再生処理センター整備事業**

## 1 事業概要

【目的】
本市が所有する３つのし尿処理施設の機能を集約した（仮称）汚泥再生処理センターを現在の第一水光園の敷地内に整備する。

【内容】
令和５年度は建設予定地である現在の第一水光園の敷地内の地質調査、地下埋設物調査及び測量を実施する。併せて、公共下水道への放流管敷設予定の道路の測量を実施する。

【経緯】
①令和元年度　「熊谷市し尿処理施設整備基本計画（アセットマネジメント基本計画のし尿処理施設に関する個別施設計画）」策定
・既存３施設（第一水光園、荒川南部環境センター、妻沼南河原環境浄化センター）の再編方針を決定。

②令和３年度　「熊谷市循環型社会形成推進地域計画」策定

③令和４年度　「汚泥再生処理センター整備基本計画」策定中
・施設規模や事業方式の決定

## 2 特徴やPRポイント

【特徴】
汚泥再生処理センターでは、し尿・浄化槽汚泥等の固液分離を行い、分離液は希釈処理して流域関連公共下水道へ放流し、最終的に埼玉県が管理する元荒川水循環センター（桶川市）で処理される。

## 3 その他

稼働開始は、令和１２年度の予定である。

---

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当課　環境部環境推進課
連絡先　048-536-1570（直通）
担当　環境部　環境推進課　木村･落合
内線　048-536-1570（直通）

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**熊谷桜堤桜診断事業**

## 1 事業概要

【目的】
熊谷桜堤（新堤緑地）のソメイヨシノについて、樹木医による樹木診断を実施することにより、桜の健全な育成を図り、将来にわたって美しい景観を維持することを目的とします。

【内容】
ソメイヨシノ約500本のうち、樹勢調査の結果が良好ではなかった桜と樹齢50年以上の桜を対象に樹木診断を委託します。

【影響】
熊谷桜堤の桜を適正に管理することで、春の桜のシーズンには美しい桜が咲き誇り、賑わいの創出に繋がります。

【効果】
樹木の専門家である樹木医の診断を受けることで、近年被害が多く確認されているクビアカツヤカミキリなどによる被害や、ベッコウタケなどのキノコによる腐朽状態を把握することができます。

## 2 特徴やPRポイント

桜の名所でもある「熊谷桜堤」は、本市の魅力を伝える上で欠かせない場所となっています。この美しい景観を後世に引き継いでいくため、定期的に樹木診断を行うとともに、桜の植え替えを計画的に取り組んでいきます。

## 3 その他

同様の取り組みを行った平成30年の樹木診断では、結果に基づいて平成30年度10本、令和元年度16本、令和2年度12本、令和3年度12本、令和4年度12本（予定）の植え替えを行いました。

---

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当課　都市整備部公園緑地課　　担当　水野
連絡先　0493-39-4806（直通）　　内線

＜速報＞
令和5年度当初予算(案)概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**元気な農業支援事業**

## 1 事業概要

【目的】
農業者の経営安定・発展を支援し、市内農業者数の増加や、農産物の安定供給を図ります。

【内容】
農業者が購入する農業機械設備に係る経費の一部を補助します。認定農業者は3/10以内、認定新規就農者は5/10以内、いずれも限度額20万円。認定農業者以外の農産物販売額年額50万円以上の農業者は3/10以内、限度額10万円。

【効果】
農業者の作業効率化、作業軽減化、農業者の維持、農地の保全等が期待されます。

【事業費】
5,000千円（この内1,000千円は、認定農業者以外の農産物販売額年額50万円以上の農業者分）

【補助条件等】
・購入する農業機械設備について国及び県の補助を受けていないこと
・市税に滞納がないこと
・農業機械設備購入の発注前に申請手続きが必要
・農業以外への使途が可能なトラック、バックフォー、フォークリフト等は対象外
・事業期間は３年間

## 2 特徴やPRポイント

【特徴】
認定農業者、認定新規就農者、それ以外の小規模農業者へも支援を行い、広く農業者を支援します。

【ＰＲポイント】
この事業は、新規の市単独補助事業です。自然災害や資材費高騰等厳しい環境にある農業者を応援し、農業の振興を図ります。

## 3 その他

申請書類、受付期間等は、市ホームページやくまがや農委だより等でお知らせする予定です。

---

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当課　産業振興部農業振興課　　担当　田島
連絡先　048-588-9990（直通）　　内線

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**立正大学データサイエンス学部連携推進事業**

## 1 事業概要

【経緯】
立正大学は法学部や心理学部など文系中心でしたが、デジタル人材の需要を見据えて新学部の設置を決め、令和３（2021）年、熊谷キャンパスに文理融合型のデータサイエンス部を新設しました。

【目的】
アンケート調査の作成や回答結果の分析、また市が保有するデータの分析を立正大学データサイエンス学部に依頼する仕組みを新たに作ることで、本市のデータ活用の促進と立正大学との更なる連携を図ります。

【内容】
アンケート調査の作成や分析、データ分析に要する経費を支払います。

【効果】
・本市のデータ活用の促進
・立正大学との更なる連携

## 2 特徴やPRポイント

【特徴】
立正大学熊谷キャンパスに令和３年４月から開設されたデータサイエンス学部との更なる連携を図ります。

## 3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当課　産業振興部商工業振興課　　担当　内田、大谷
連絡先　048-524-1111　　内線　467

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
「中心市街地活性化」まちづくり会社業務支援事業

## 1 事業概要

【目的】
本市２番目のまちづくり会社（※）である「株式会社まちづくり熊谷」の業務を支援し、人・もの・金・情報の循環を再生させることでまちの活性化を図ります。

【内容】
本市の産業振興にかかる調査研究及び将来ビジョンの検討に対して補助するとともに、若手経営者等との交流を図るための懇談会、熊谷青年会議所等の会員を対象にしたまちづくり勉強会の開催等に補助を行います。

【効果】
民主導による産業振興策の提案を受けることで、本市に有用な産業施策の検討に資することができるとともに、懇談会等により、人的ネットワークの形成やまちづくり人材の育成を図ることができます。

※まちづくり会社とは・・・地域振興などを目的として、国や地方公共団体、民間事業者等の共同出資で設立された公共性の高い会社

## 2 特徴やPRポイント

民間のまちづくり会社が本市全体を見据えた産業振興策を検討することで、市の組織の枠を超えた調査研究やビジョンの提案を受けることができます。

## 3 その他

※ 資料の有無（　有　・　[無]　）

担当課　産業振興部商工業振興課　　担当　斉藤
連絡先　048-524-1111　　内線　545

＜速報＞
令和5年度当初予算(案)概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
「総合戦略」農産物ブランド化推進事業

## 1 事業概要

【目的】
農業振興による地域の活性化と農業者の所得向上のため、熊谷市農産物ブランド化推進協議会を設置し、熊谷産の農産物及び農産物を使用した加工品のブランド化を図り、付加価値をつけた農産物の生産を推進します。
【内容】
熊谷市農産物ブランド化推進協議会が行う、農産物及び農産物加工品のブランド化推進事業に要する経費について補助金を交付します。
〔事業内容〕
① 農産物及び農産物加工品のブランド認定をします。
② 市内農業者等で、農産物の生産や農産物加工品のブランド化にチャレンジするプレーヤーから事業プランを募集し、優秀プランに研究費等を支援､ブランド化を推進します。
③ 熊谷市の農産物と農産物加工品の情報発信をします。
【期待される効果】
・『熊谷といえばこれ』という農産物及び農産物加工品の情報を発信し、熊谷産の農産物の流通・販売量を増やすことにより、農業者の所得を向上させ、熊谷市の農業の活性化を図ります。
・ブランド化に『チャレンジする農業者等』を応援することにより、農産物の生産や農産物加工品の開発の意欲を喚起します。

## 2 特徴やPRポイント

・令和４年度に、農産物２件・加工品1件の農産物ブランド化を目指すプレーヤーの認定をしました。
・プレーヤーには「熊谷ファームラボ補助金」として３段階のステップアップ方式の補助金を交付します。

## 3 その他

・「熊谷ファームラボ補助金」
①農産物：STEP１=基礎研究=10万➡STEP２=収穫流通=15万
➡STEP３=ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ化認定=25万円
②加工物：STEP１=基礎研究=30万➡STEP２=製品流通=45万
➡STEP３=ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ化認定=75万円

---

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　産業振興部農業振興課　　担当　田口
連絡先　℡ 048－588－9987（直通）　　内線　－

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**「総合戦略」池上地区「道の駅」整備事業**

## 1 事業概要

【目的】
（仮称）道の駅「くまがや」を整備することにより、道の駅としての機能に加えて、熊谷流の農業・食文化を「育てる」、「発信する」ことを通じ、産業、観光、市民活動を活性化し、住民や来訪者を「元気にする」地域活性化拠点を実現します。

【内容】
池上地内の国道１７号熊谷バイパスと国道１２５号の交差部に、「日本を代表する”食”のテーマパーク」をコンセプトとし、併せて未来の地域・社会の担い手である「子ども」の成長を支援するというテーマと「食」を掛け合わせ、設計コンセプトを「食×子ども」とした個性ある道の駅を整備します。
令和５年度は、ＰＦＩ事業者の選定及び盛土造成工事等に着手します。

【効果】
・農業振興、情報発信、地域交流の拠点として地域の課題解決に寄与するとともに、本市の魅力を全国にＰＲし、地域振興を図ります。

## 2 特徴やPRポイント

・駐車場やトイレのほか、新鮮な地元野菜や鮮魚などを購入できる農水産物直売所、レストランやフードコートなどの飲食施設、さらには、ファミリー層が安心して過ごすことができる屋内遊び場を設けます。
・熊谷市初のＰＦＩ事業により設計から運営までを一括して行うことことで、民間のノウハウを十分に活用することができ、コストの縮減、質の高い経営などが可能となります。

## 3 その他

令和４年度は、ＰＦＩ事業を実施するにあたり、事業者公募に係る要求水準書を作成・公表したほか、他埋蔵文化財の発掘調査、外周道路工事を実施しています。

---

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当課　産業振興部東部地域開発推進室　　担当　村松
連絡先　℡048-580-4622（直通）　　内線　532

＜速報＞
令和5年度当初予算(案)概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**自転車通行環境整備事業**

## 1 事業概要

【目的】
令和３年度に策定した熊谷市自転車活用推進計画に基づき、自転車通行帯の整備を行います。

【内容】
令和５年度は、熊谷市自転車推進計画の中で重点整備路線に位置づけられた、北大通り線、籠原駅南口周辺、東武線跡地（市道妻沼1363号線ほか）の自転車通行帯の整備を行います。

【効果】
自転車通行帯の整備を行うことにより、自転車の通行時の安全確保や、歩道内での歩行者等との接触事故を予防し、市民生活の安心安全の向上を図ります。
また、広域で自転車道を結ぶことにより、自転車を活用した観光の振興や市民の健康促進・レクリエーションでの活用の促進を図ります。

## 2 特徴やPRポイント

自転車道整備済みの国道・県道・市道をはじめ、荒川自転車道・利根川自転車道と接続することにより、広域での自転車通行空間ネットワークを構築します。

## 3 その他

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当課　建設部維持課課　　担当　金子
連絡先　℡ 048-524-1111　　内線　543

＜速報＞
令和5年度当初予算(案)概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**秩父鉄道大麻生No.9踏切交通安全対策事業**

## 1 事業概要

【目的】
地域交通の安全性、利便性向上のため、川原明戸地内の秩父鉄道大麻生No.9踏切を拡幅整備し、隣接する第４種踏切の大麻生No.8踏切を閉鎖します。

【内容】
大麻生No.9踏切を4メートルから6メートルへ、当該接続道路の約50メートル区間については、有効幅員5メートルから6メートルへ拡幅整備し、併せて、遮断機や警報機のない大麻生No.8踏切を閉鎖するものです。
令和5年度は、調査測量を行います。

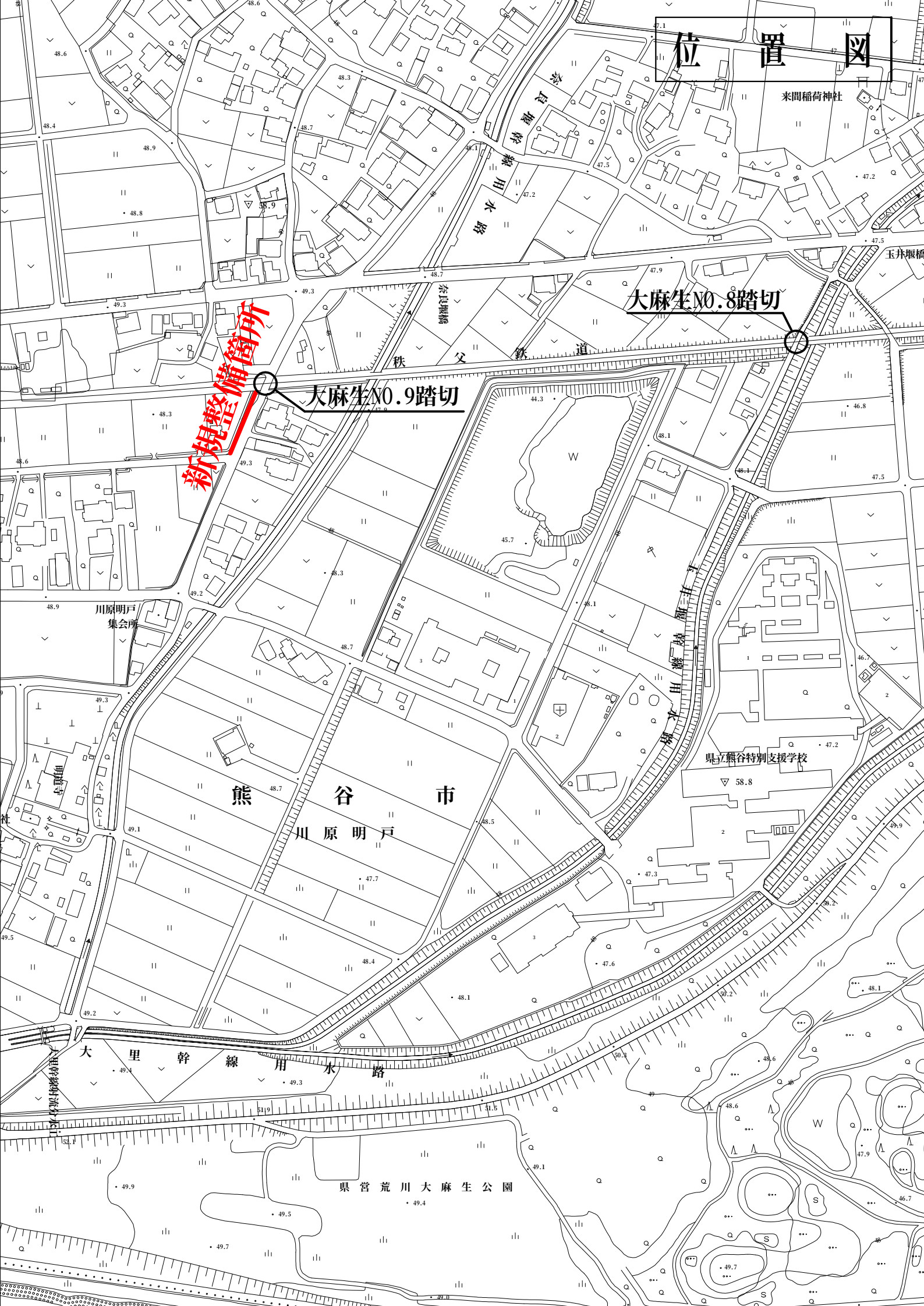
## 2 特徴やPRポイント

車両のすれ違いが可能となり、地域住民や県立熊谷特別支援学校の送迎等の安全性、利便性の向上が図れます。

## 3 その他

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　建設部 道路課　担当　鈴木
連絡先　（道路課）TEL 048－524－1111　内線 457


位置図
新規整備箇所
大麻生NO.8踏切
大麻生NO.9踏切
秩父鉄道
奈良堰橋
玉井堰橋
来間稲荷神社
川原明戸集会所
熊谷市
川原明戸
大里幹線用水路
県立熊谷特別支援学校
県営荒川大麻生公園

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**既存建築物バリアフリー改修促進事業**

## 1 事業概要

【目的】
ユニバーサルデザインの発想に基づくまちづくりを進めるため、熊谷駅・籠原駅周辺の不特定多数の方が利用する既存建築物のバリアフリー改修を促進します。

【内容】
「熊谷市バリアフリー基本構想」に掲げる、重点整備地区（熊谷駅・籠原駅周辺）内の民間の所有する生活関連施設の段差の解消やトイレの改修等のバリアフリー改修に対し、要する費用の３分の１を上限に補助します。

【影響・効果】
大規模な商業施設や病院等の既存建築物のバリアフリー改修を促進することで、高齢者や障がい者など、全ての人が暮らしやすいまちづくりを進めます。

## 2 特徴やPRポイント

大規模な商業施設や病院等の多数の人々が利用する施設のバリアフリー改修に対する補助事業は、全国的にもあまり例がなく、県内初となります。

## 3 その他

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当課　都市整備部都市計画課　　担当　坪田、大谷
連絡先　0493-39-4814　　内線　61

資料

# 熊谷市既存建築物バリアフリー改修事業について

重点整備地区にある生活関連施設のバリアフリー化を進めるため

改修工事に要する費用に対する補助制度をはじめます

## ■事業のイメージ

【補助対象区域】
・熊谷駅周辺重点整備地区　及び　籠原駅周辺重点整備地区
【補助対象建築物】
・生活関連施設のうち、民間の所有する特別特定建築物
【補助率】
・バリアフリー改修工事に要する費用の 1/3
【補助対象工事】
・補助対象建築物をバリアフリー改修する工事

- 段差の解消
- 出入口、通路の幅の確保
- 車椅子使用者トイレの設置
- オストメイト設備を有するトイレの設置
- 乳幼児用設備の設置
- ローカウンターの設置
- 車椅子使用者用駐車施設の設置
- 駐車場から店舗までの屋根設置　など


トイレのバリアフリー化


スロープの設置


ローカウンターの設置

写真の出典：高齢者、障害者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準（令和3年3月）

（国土交通省資料より抜粋）

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**市民協働事業「熊谷の力」電子版バリアフリーマップ作成事業**

## 1 事業概要

【目的】
熊谷駅、籠原駅周辺のバリアフリーの状況を、Ｗｅｂ上のバリアフリーマップにオープンデータとして掲載し、すべてのひとが快適で楽しく回遊できるまちの形成を目指します。

【内容】
・立正大学ボランティア活動推進センターと協働で事業を進めます。
・障がい当事者へのヒアリングを行い、掲載してほしい情報などを整理します。
・現地調査を行い、道路や信号機等のバリアフリー状況を確認します。
・掲載予定の飲食店や小売店に郵送での調査を行い、必要に応じて個別訪問を実施して、トイレや段差などの状況確認を行います。
・調査結果をオープンデータとしてＷｅｂ上に掲載し、パソコン、スマートフォンで閲覧しやすい既存のバリアフリーマップアプリにより提供します。

【影響・効果】
使いやすく有益な情報が載ったマップがあることで、すべての人が快適で楽しく回遊することができるようになり、まちのにぎわいの創出の一助となります。また、マップ作成にかかる調査を実施することで、調査対象店舗などがサービスや施設を見直すきっかけとなることも期待されます。

## 2 特徴やPRポイント

【特徴・ＰＲポイント】
立正大学ボランティア活動推進センターとの協働により、行政以外の視点を取り入れることができ、より利用者にとって利便性の高いマップを作成できます。
また、Ｗｅｂ上に作成することにより、アプリの利用者自身が新しい情報を随時掲載することが可能となるほか、どこからでもアクセスが可能であることから、市内のバリアフリー状況を市外へＰＲすることができます。

## 3 その他

立正大学ボランティア活動推進センターと協働実施

---

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当課　都市整備部都市計画課　　担当　大谷、坪田
連絡先　0493-39-4814　　内線

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**熊谷運動公園子供広場整備事業**

## 1 事業概要

【目的】
　熊谷運動公園の屋内プールに隣接する子供広場の活用を進めることで、施設利用者数の向上を図ります。

【内容】
　新たに整備する水辺環境施設について設計を委託します。

【影響】
　幅広い世代に利用いただける施設を目指すことで、整備するエリアだけではなく公園全体の活性化に繋がります。

【効果】
　熊谷の暑い夏の時期に、水に触れあうことができる憩いの場として、市民に親しまれる広場へとリニューアルします。新たなレジャー施設として、市内だけではなく近隣市町からの公園利用も見込まれます。

## 2 特徴やPRポイント

　子供広場では、近年複合遊具を更新するなど、施設のリニューアルを進めています。今後は、残りのエリアに水辺環境施設の新設を進め、より一層の賑わいの創出に繋げます。

## 3 その他

※ 資料の有無（　有　・　[無]　）

担当課　都市整備部公園緑地課　　担当　水野
連絡先　0493-39-4806（直通）　　内線

＜速報＞
令和5年度当初予算(案)概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**生活道路の整備の推進**

## 1 事業概要

【目的】
地域の利便性及び通行の安全性に配慮した生活道路の整備と維持管理を行い、生活環境の改善を図ります。

【内容】
・道路整備事業
陳情・要望による、地域の狭あいな生活道路の拡幅改良、側溝整備及び舗装新設等を「熊谷市道路整備の事業実施に関する要綱」に基づき、必要性・緊急性を評価し実施します。
・道路維持経費
幹線道路や生活道路の老朽化した舗装補修と街路樹等の管理を行います。

【効果】
生活道路の利便性の向上、道路の適切な維持管理により良好な生活環境を創出します。

## 2 特徴やPRポイント

・道路整備事業
「熊谷市道路整備の事業実施に関する要綱」（道路事業評価システム）により、公平性を確保し、効果的に事業を進めています。
・道路維持経費
積極的に補修や整備を行うことにより、地域の利便性の向上や安全の確保が図られます。

## 3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　建設部　道路課　担当　杉浦
建設部　維持課　担当　金子
連絡先　（道路課）TEL 048－524－1111　内線 352
（維持課）TEL 048－524－1111　内線 543

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**排水路等維持管理経費**

## 1 事業概要

【目的】
　排水路整備を行い生活環境改善を図るとともに、浸水被害が頻発している地域において浸水被害軽減対策を行います。

【内容】
　引き続き排水路整備や除草等の管理を行うとともに、令和５年度は大原四丁目地内における雨水浸透施設の詳細設計を行います。

【効果】
　排水路整備等により適正な流れを確保し、水路環境の改善を図ります。また、雨水浸透施設を整備することにより、台風や大雨時の浸水被害軽減を図ります。

## 2 特徴やPRポイント

　雨水浸透施設の整備により、大雨による道路冠水発生等が軽減され、市民の安心・安全の確保が図られます。

## 3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当課　建設部河川課　　担当　萩原
連絡先　048－524－1111　　内線　355

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**市道90007号線道路改良事業**

## 1 事業概要

【目的】
市道９００９６号線から県道武蔵丘陵森林公園広瀬線までの約１４００ｍについて、幅員１０ｍで整備をします。

【内容】
令和５年度は、残区間約６００ｍを整備し、完成を目指します。

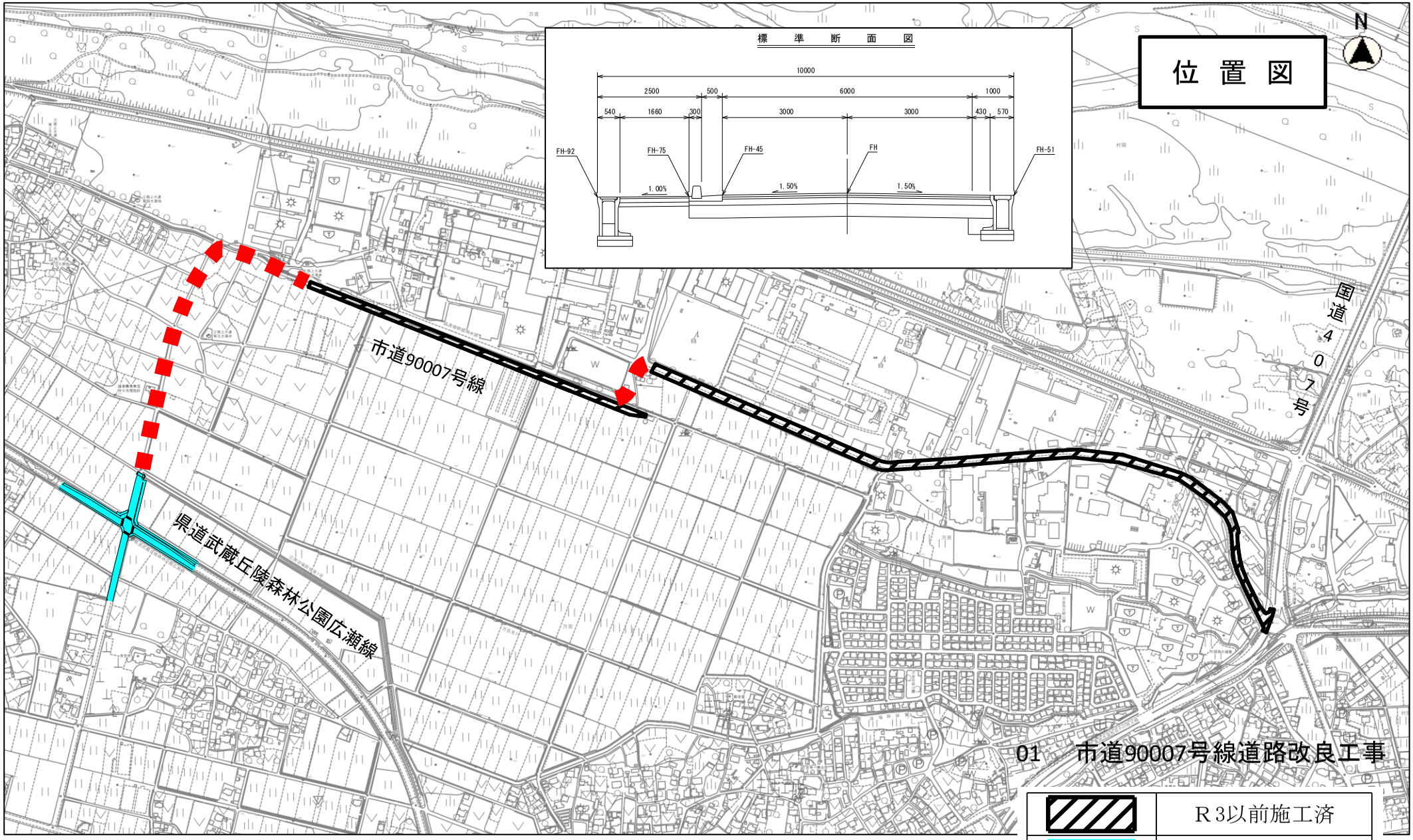
## 2 特徴やPRポイント

県道武蔵丘陵森林公園広瀬線を通じ、関越自動車東松山ＩＣ及び花園ＩＣへのアクセス強化が図れ、熊谷吉岡工業団地の立地優位性を高めることが出来ます。

## 3 その他

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　建設部 道路課　担当　杉浦
連絡先　（道路課）TEL 048－524－1111　内線 352




01　市道90007号線道路改良工事

| | |
|---|---|
| | R3以前施工済 |
| | R4施工中 |
| | R5施工予定箇所 |

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**「直実・蓮生物語」マンガ制作事業**

## 1 事業概要

【目的】
本市を代表する偉人の一人に、熊谷次郎直実・法力房蓮生法師があげられます。その直実・蓮生の一生には、たくさんの伝説やエピソードがちりばめられていますが、それらのお話をマンガ形式でわかりやすく伝えることで、郷土愛を育み、郷土熊谷の誇りを醸成することを目的とします。

【内容】
直実・蓮生の一生のうちに伝わる様々な伝説のうち、１２のエピソードを取り上げる予定です。また、エピソードごとに詳しい解説とその由来の地の紹介等も記載し、熊谷だけではなく全国に広がる直実・蓮生の伝説を紹介します。

【影響】
歴史上の人物をマンガ形式で編集・刊行することにより、小学生から大人までがわかりやすく、そしてより身近に郷土の偉人を感じることができます。

【効果】
これまでは武士・直実の事績が『平家物語』等を通して広く市民に理解されていましたが、後半生の僧侶・蓮生の時のエピソードも広く取り上げ、郷土の偉人である直実・蓮生の一生を通して、人の生き方や考え方、さらには「郷土熊谷にこんな偉人がいたんだ」という新たな発見をすることができると思います。

## 2 特徴やPRポイント

【特徴】
昨年度、埼玉県で荻野吟子に関するマンガ形式のブックレットを制作しましたが、それに続く郷土の偉人を紹介するブックレットになります。

【ＰＲポイント】
市内小中学生の全員に配布し、子どものころから郷土の偉人への理解を深めます。また、有償頒布も行い、広く一般市民の郷土愛を育む機会を設けます。

## 3 その他

---

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当課　教育委員会熊谷図書館　　担当　大井教寛
連絡先　熊谷市立熊谷図書館　　内線　048-525-9463

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**校外方式水泳授業導入事業**

## 1 事業概要

【目的】
○専門家の指導による児童の体力を伸ばすための水泳授業時間を確保します。併せて天候に左右されない計画的な学校運営と施設の老朽化に対応した効率的な施設管理を進めます。

【内容】
○令和３年度から実施している熊谷東小学校と成田小学校（令和５年度から成田星宮小学校）、令和４年度から実施している三尻小学校、籠原小学校に加えて、令和５年度から佐谷田小学校、大麻生小学校、玉井小学校、新堀小学校について、水泳授業の校外方式を導入します。
○市内の水浴施設を利用し、約1時間の授業を１校あたり24回（1学年4回×6学年）を予定しています。
○インストラクターによる泳力別の指導を実施します。

【効果】
○インストラクターによる的確な技術指導を受けることによって泳力の向上が期待できます。
○屋内施設であることから、季節や天候に左右されず、計画的に授業を進めることができます。
○教職員は、評価に専念できるため、児童の達成状況を的確に把握することができるとともに、教職員の負担軽減に繋がります。
　また、教職員は、児童の健康観察や見学者への対応を行うとともに、必要に応じてプールに入り、支援が必要な児童に対して個別指導を実施します。

## 2 特徴やPRポイント

○泳力別のグループに分かれて指導します。
【Ⅰ】水泳・水遊びが苦手な（もぐれない・浮けない・泳げない）児童のグループ
【Ⅱ】学年の目標を達成することを目指す児童のグループ
【Ⅲ】学年の目標は達成していて、より高い目標に向かう児童のグループ
○インストラクターを効果的に配置します。
【Ⅰ】個別の指導が必要なため、インストラクターを児童約１０人に１人配置します。
【Ⅱ】【Ⅲ】児童２０～３０人に１人のインストラクターを配置します。

## 3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　教育委員会　学校教育課　担当　大嶋一寿
連絡先　℡048-524-1111　内線　386

＜速報＞
令和5年度当初予算(案)概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**市立小中学校通学支援事業**

## 1 事業概要

【目的】
○スクールバスは、成田小学校と星宮小学校の統合により成田星宮小学校が開校することに伴い、通学場所（学校）や通学距離が変更になる児童の負担軽減のために運行するものです。

【内容】
○利用対象者
　原則、星宮地域（池上、下川上）に居住し、令和５年４月以降星宮小学校に通学予定だった児童。また、入学式等の学校行事における保護者の利用も予定しています。
○利用者負担
　無料
○乗降場所、運行ルート、時刻表
　乗降場所：星宮小学校、星宮公民館、下川上公園、古宮神社
　運行ルート及び時刻表：毎月の運行内容は、運行計画書により保護者にお知らせします。
○使用する車両（運転手含む）
　①　マイクロバス：２３人乗り（補助席除く）
　②　中型バス：１５人乗り
※中型バスについては、登下校の合間の時間帯に星宮地域循環バスとして運行します。【担当:企画課】

## 2 特徴やPRポイント

○乗車時と降車時に、ＩＣカードをカードリーダーにタッチすることで、乗降確認を行います。
○運行計画書（バス出発時刻、下校時の各乗降場所到着時刻等）は学校連絡アプリ（tetoru）により、前の月に配布します。

## 3 その他

○交通指導員や見守りボランティアに御協力をいただくとともに、バスの運行に関して地域に情報提供し、御理解と見守りを依頼します。

---

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当者　教育委員会　学校教育課　担当　柳澤訓賀
連絡先　℡048-524-1111　内線　385

＜速報＞
令和5年度当初予算(案)概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**小学校・中学校校舎大規模改造事業**

## 1 事業概要

【目的】
児童・生徒の教育環境の向上を図ることを目的とし、校舎の老朽化対策を行います。

【内容】
校舎の老朽化対策として、外壁改修、屋上防水等の工事を校舎の経年数や劣化度等を勘案し、毎年度計画的に実施します。
令和５年度は、大幡小学校、奈良中学校の２校について、当初予算に計上して実施します。

・小学校（１校）・・・大幡小学校
・中学校（１校）・・・奈良中学校

【経緯・経過】
学校施設については、校舎や屋内運動場の耐震化工事が完了しましたので、経年劣化した校舎の老朽化対策に取り組んでいます。

【影響・効果】
施設の老朽化対策を図ることで、児童・生徒が安全で快適な学校生活を送ることができます。

## 2 特徴やPRポイント

校舎の改修により、学校施設の安全性・快適性が高まり、教育環境も向上します。

## 3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当者　教育委員会教育総務課　　担当　秋山・角張
連絡先　℡048-524-1111　　内線　517

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**熊谷文化会館設備改修事業**

## 1 事業概要

【目的】
舞台音響設備改修を行い、利用者にとって安心安全で快適なホール環境を整えます。

【内容】
老朽化が深刻な文化会館ホール舞台音響設備（音響調整卓機器及びスピーカー機器）の改修を行います。現場での設置工事は、令和６年２月１日から３月３１日までを予定しており、文化会館ホール及び練習室は、同期間中は利用休止となります。
ホール使用申請は利用の１年前から受け付けているため、利用休止に関しては令和４年１２月から市報及びホームページ等でお知らせしています。

## 2 特徴やPRポイント

## 3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当課　文化会館　　担当　森田・野部
連絡先　048-525-4553　　内線

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**熊谷市議会議員一般選挙事業**

## 1 事業概要

【目的】
令和５年４月３０日任期満了の熊谷市議会議員一般選挙を執行します。

【内容】
選挙期日は「地方公共団体の議会の議員及び長の任期満了による選挙等の期日等の臨時特例に関する法律」により令和５年４月２３日に決定しました。

・選挙期日（投・開票日）　令和５年４月２３日
・告示日（立候補届出日）　令和５年４月１６日
・定数３０人（前回平成３１年：定数３０人、立候補者数３３人）
・選挙人名簿定時登録者数(令和４年１２月１日現在)　１６３，７６０人

## 2 特徴やPRポイント

【特徴】以下のとおり、投票所、期日前投票所、開票所を設置します。
投票所　５３箇所
期日前投票所　６箇所（熊谷市役所、大里行政センター、妻沼行政センター、江南行政センター、男女共同参画推進センター（ティアラ２１内）、熊谷文化創造館（さくらめいと会議棟））
開票所　妻沼運動公園体育館

## 3 その他

前回　平成３１年４月２１日執行
選挙当日有権者数　１６３，９７０人
投票率　４５．４０％

---

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当課　選挙管理委員会事務局　　担当　市川　浩央
連絡先　048-524-1111　　内線　397、398

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
**国際理解促進事業**

## 1 事業概要

【目的】
海外と姉妹都市提携を行い、様々な活動や行事に参加することを通して、その交流を深めることにより、市民の国際理解、国際感覚の醸成を図ります。

【内容】
姉妹都市提携３０周年に伴いニュージーランド・インバーカーギル市訪問団が来熊し、姉妹都市３０周年記念調印式及び市内・近郊の視察、見学を行います。

【影響】
主に、文化・教育交流を行い、中高生によるホームステイや市民親善訪問団の派遣・受入などで多くの市民が交流を図っています。市内の県立高校や大学でも現地の学校と姉妹校提携を行い、交流を行っています。

【効果】
熊谷市とニュージーランド・インバーカーギル市は平成５年に姉妹都市提携しましたが、活発な交流は継続しており令和５年で３０周年を迎えることとなりました。

## 2 特徴やPRポイント

【特徴】
姉妹都市交流を縮小している市町村が多い中、本市では盛んな交流が継続しています。訪問団の受入はコロナ禍の影響もあり2019年以来となります。

【ＰＲポイント】
記念調印はそれぞれの都市で行っており、本年１月末再調印のためニュージーランド・インバーカーギル市へ市長訪問団を派遣しました。

## 3 その他

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当課　市長公室広報広聴課　　担当　川根
連絡先　048-524-1111　　内線　220

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

# 熊谷市
# 記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
（仮称）第2中央生涯活動センター整備事業

## 1 事業概要

【目的】
老朽化した施設や更新の難しい施設を集約・複合化し、世代、活動分野を超えて、様々な人々が「集まり」・「出会う」交流の拠点となる施設を整備します。「生涯」にわたってあらゆる分野の「活動」を行える施設を目指します。

【内容】
令和１０年度の供用開始に向け、令和５年度は施設の設計業務、地質調査等を行います。

【経緯】
令和４年度に基本構想・基本計画策定、民間活力導入可能性調査を実施しています。令和５年３月に基本構想・基本計画を策定予定です。

【効果】
多様な利用者が訪れることを想定し、安心して利用できる施設を整備します。

## 2 特徴やPRポイント

（仮称）第２中央生涯活動センターの基本理念を「つながるフィールド　～生涯活動拠点～　」としました。「つながる空間」「つながる機会」「つながる活動」を提供することで、にぎわいを点から線、そして面へとつなげ、まち全体に広げていきます。

■建設予定地：熊谷市石原１４０７―１及び１４０１―５
既存建物：勤労青少年ホーム、勤労者体育センター、勤労会館、防災まちづくり倉庫等
■延床面積：約３，０００㎡

## 3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当課　市民部市民活動推進課　　担当　遠藤
連絡先　048－524－1111　　内線　330